

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第19週[5月9日～5月15日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/  
E-mail:kansen@ken4.pref.kochi.jp

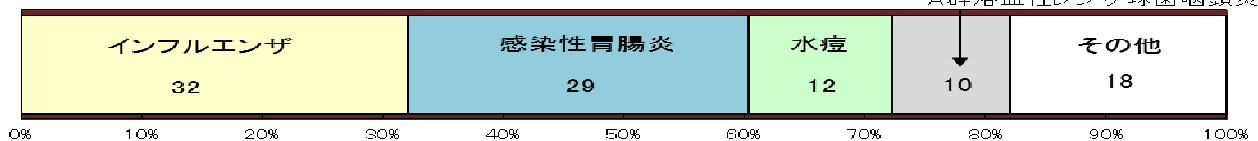
## 県内情報

### ○ 患者情報総評

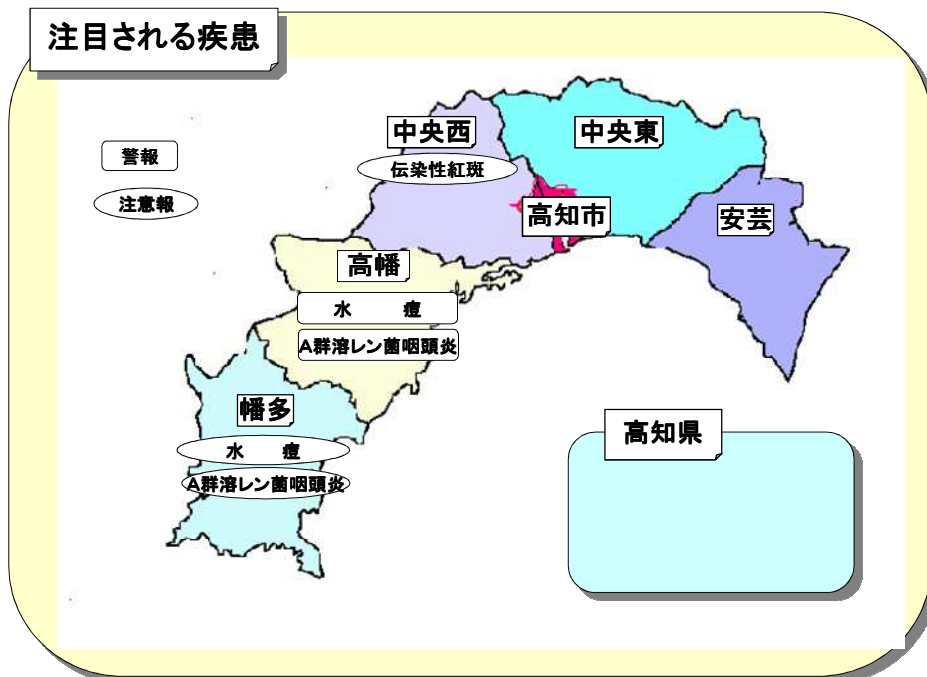
#### 注意報発令疾患：なし

- 週の中頃は雨が降り蒸し暑く感じられたが、その後は爽やかな五月晴れとなった。
- インフルエンザ**は総数は前週の約1/2に減少した。
- 感染性胃腸炎**は中央医療圏で減少し、総数は前週の約7割に減少した。しかし、その他の地域では増加しており、引き続き注意が必要である。
- 水痘(高幡：注意報→警報, 幡多：注意報)**は総数は前週と横ばいの報告となっているが、地域毎にみると高幡と幡多で増加し、高幡では警報値を大幅に超し、幡多では注意報値を超しており、注意が必要である。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(高幡：注意報→警報, 幡多：注意報)**は安芸と中央西を除く地域で増加し、総数は増加した。高幡では警報値を、幡多では注意報値を超した。
- 手足口病**と**ヘルパンギーナ**の夏型疾患でやや増加しており、今後の推移が注目される。

上位疾患構成図

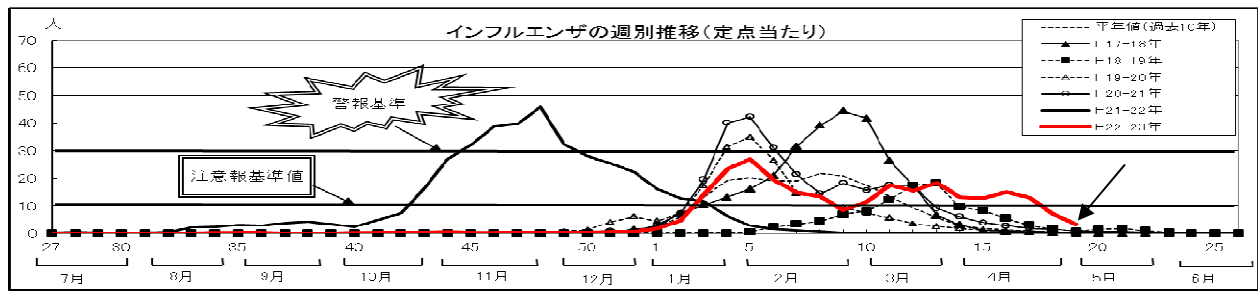


### 注目される疾患



### インフルエンザ：今週 3.27 (注意報値：10.00 警報値：30.00)

全ての地域で減少し、総数はさらに減少した。全ての地域で注意報値を下回り、今後は終息に向かって減少が続くと思われる。病原体はAH3 (A香港型) 2件, B 2件が検出された。



**伝染性紅斑：今週 0.57 （注意報値：1.00 警報値：2.00）**

総数はやや増加し、中央西では注意報値を超した。

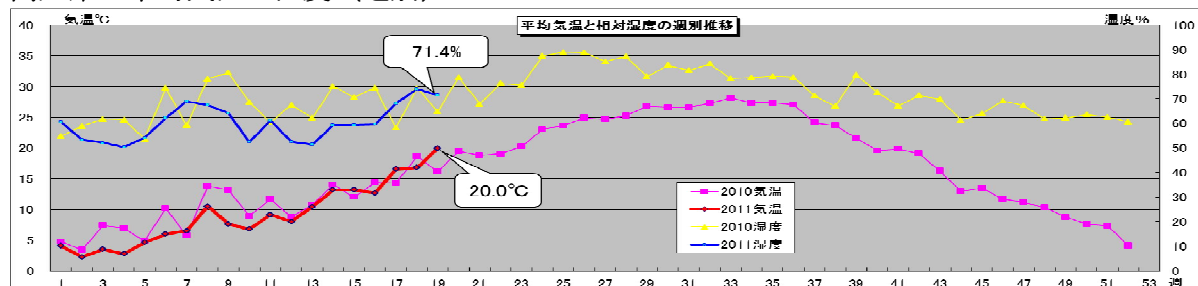
### 検査情報

週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
50	感染性胃腸炎	9ヵ月 男	中央東	Parechovirus NT
3	ヘルパンギーナ	9ヵ月 男	高幡	Coxsackievirus A6
4	手足口病	1歳 女	高知市	Coxsackievirus A6
4	手足口病	2歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
4	手足口病	2歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
5	手足口病	2歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
5	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
5	ヘルパンギーナ	2歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
6	手足口病	2歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
6	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
7	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
7	手足口病	1歳 女	高幡	Coxsackievirus A6
8	手足口病	1歳 男	高知市	Coxsackievirus A6
8	手足口病	3歳 男	高幡	Coxsackievirus A6
9	気管支喘息・重積発作	1歳 女	幡多	Rhinovirus
13	インフルエンザ	1歳 女	高知市	Rhinovirus
17	仮性クループ	1歳 女	中央東	Human bocavirus
18	インフルエンザ	3歳 男	高知市	Influenza virus A H3 NT
19	インフルエンザ	不明 男	高知市	Influenza virus B
19	インフルエンザ	1歳 男	高知市	Influenza virus B
19	インフルエンザ	5歳 男	高知市	Influenza virus A H3 NT
19	マイコプラズマ肺炎	6歳 男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>
19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳 女	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12
19	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5歳 男	高知市	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12

### ○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 6例（80代男）《須崎》（10代，70代女）《高知市》（60代男）《幡多》（80代女，90代男）《中央東》（今年50例）

### ○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



### ○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《幡多けんみん病院小児科》：インフルエンザの4例はB型陽性

《さたけ小児科》：インフルエンザの7例はB型陽性 ヘルペス性歯肉口内炎 2例（4，7歳女）  
膿痂疹 1例（5歳女） マイコプラズマ感染症 2例（5，15歳男）

《大井田病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性

《渭南病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性，予防接種歴なし

《こいけクリニック》：インフルエンザの1例はB型陽性

**高幡：**

《もりはた小児科》：インフルエンザの10例は全てB型陽性，予防接種歴ありは2例  
アデノウイルス感染症（滲出性扁桃炎） 3例  
（18週）カンピロバクター腸炎 1例（6歳男）

《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの6例中1例はA型陽性，5例はB型陽性

**中央西：**

《石黒小児科》：インフルエンザの3例は全てB型陽性，予防接種歴あり 単純ヘルペス 1例（9歳男）  
カンピロバクター腸炎 1例（2歳男） 水痘の1例（2歳女）は予防接種済み

《くぼたこどもクリニック》：インフルエンザの2例は全てB型陽性

《日高クリニック》：インフルエンザの6例中5例はB型陽性，1例は臨床診断

《土佐市民病院内科》：インフルエンザの7例中1例はA型陽性，6例はB型陽性

**高知市：**

《細木病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性

《福井小児科内科》：インフルエンザの3例中1例はA型陽性，2例はB型陽性，1例は予防接種歴あり

《けら小児科・アレルギー科》：インフルエンザの20例は全てB型陽性，予防接種歴ありは4例  
アデノウイルス陽性 1例（1歳女）

《ふないキッズクリニック》：インフルエンザの4例中2例はA型陽性，2例はB型陽性

《依岡内科》：インフルエンザの4例中1例は予防接種歴あり

《高知医療センター小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性，予防接種歴なし

《細木病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

《高知赤十字病院内科》：インフルエンザの2例中1例はB型陽性，予防接種歴ありは1例

《近森病院内科》：インフルエンザの5例中1例はA型陽性，3例はB型陽性，うち予防接種歴ありは2例

《高知医療センター内科》：インフルエンザの1例はB型陽性，予防接種歴なし

**中央東：**

《吉本小児科皮膚科》：インフルエンザの2例はB型陽性 病原性大腸菌 2例（0-25，0-74共にVT陰性）

《あけぼの小児クリニック》：インフルエンザの6例は全てB型陽性 アデノウイルス咽頭炎 2例（0，1歳男）

《野市中央病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性，予防接種歴なし

《早明浦病院小児科》：インフルエンザの2例はB型陽性

《JA高知病院内科》：インフルエンザの5例は全てB型陽性

《野市中央病院内科》：インフルエンザの2例はB型陽性

**安芸：**

《県立安芸病院小児科》：インフルエンザの4例中2例はB型陽性

《田野病院小児科》：インフルエンザの6例はB型陽性，予防接種歴あり2例

アデノウイルス咽頭扁桃炎 1例（6歳女）

《県立安芸病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性，予防接種歴なし

**全国情報第16週（4/18～4/24）**（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核341例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症4例

4類感染症：E型肝炎1例、A型肝炎1例レジオネラ症8例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎（B型）1例、急性脳炎3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、後天性免疫不全症候群14例（AIDS 5例、無症候8例、その他1例）、ジアルジア症1例、梅毒4例、破傷風1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん12例、麻しん20例

報告遅れ：E型肝炎2例、急性脳炎4例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん6例

◆東京都における麻しんウイルスの検出状況について

東京都健康安全研究センターでは、2010年7月から「麻しんの病原体レファレンス事業」として、届出のあった麻しん患者を対象に積極的に遺伝子検査を開始した。その後、同年12月からは感染症法に基づく「積極的疫学調査」として検査を行っている。

2010年7月1日～2011年4月21日までに、病原体レファレンス事業と積極的疫学調査合わせて70件（93検体）の検査を行った。2010年に実施した19件中麻しんウイルス遺伝子陽性は1件のみであった。この1件は、麻しんワクチン接種後10日目の患者で、検出されたウイルスの遺伝子型はワクチン株であるA型であった。一方、麻しんウイルスが陰性であった18件中4件（22.2%）からはヒトパルボウイルスB19遺伝子が検出された。

2011年1月～4月21日までに実施した51件では、24件（47.1%）が麻しんウイルス遺伝子陽性であった。検出された麻しんウイルスの遺伝子型は、D4型16件およびD9型8件であった。1月から検出され始めたD4型はヨーロッパからの観光客やビジネスマン、D9型は東南アジアからの旅行者ならびに帰国者等からの検出であった。これらの遺伝子型は、過去に都内発生例からの検出がないこと、渡航先等での麻しん流行株の遺伝子型と一致していること等から輸入例と推定された。最近、都内でも、これらの遺伝子型が海外渡航歴のない患者から検出される例が増加しており、感染拡大が危惧されている。流行状況の把握には、発症者の把握と併せて、迅速な遺伝子解析を主体とした検査が重要である。

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前 週	全国(18週)	高知県(19週未累計) H23/1/3~H23/5/15
			中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ	11	30	60	18	22	16	157 ( 3.27)	335 ( 6.98)	16,531 ( 3.38)	12,149 ( 253.10)
小児科	咽 頭 結 膜 熱					1		1 ( 0.03)	3 ( 0.10)	1,066 ( 0.34)	127 ( 4.23)
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎		4	19	3	12	10	48 ( 1.60)	35 ( 1.17)	4,229 ( 1.35)	896 ( 29.87)
	感 染 性 胃 腸 炎	7	20	65	14	13	19	138 ( 4.60)	205 ( 6.83)	18,412 ( 5.88)	5,194 ( 173.13)
	水 痘	2	1	18	3	19	15	58 ( 1.93)	59 ( 1.97)	4,997 ( 1.60)	995 ( 33.17)
	手 足 口 病	1	4	17		1		23 ( 0.77)	15 ( 0.50)	678 ( 0.22)	178 ( 5.93)
	伝 染 性 紅 斑		3	9	3		2	17 ( 0.57)	13 ( 0.43)	1,684 ( 0.54)	137 ( 4.57)
	突 発 性 発 疹		6	8		1	2	17 ( 0.57)	15 ( 0.50)	1,380 ( 0.44)	240 ( 8.00)
	百 日 咳			1				1 ( 0.03)		61 ( 0.02)	9 ( 0.30)
	ヘルパンギーナ	2	5	8	1			16 ( 0.53)	7 ( 0.23)	164 ( 0.05)	60 ( 2.00)
	流行性耳下腺炎		2	2		1	2	7 ( 0.23)	8 ( 0.27)	2,461 ( 0.79)	124 ( 4.13)
	RSウイルス感染症									335 ( 0.11)	554 ( 18.47)
	眼科	急性出血性結膜炎									13 ( 0.02)
流行性角結膜炎				1				1 ( 0.33)		317 ( 0.47)	17 ( 5.67)
基幹	細菌性髄膜炎			1				1 ( 0.14)		11 ( 0.02)	2 ( 0.29)
	無菌性髄膜炎								1 ( 0.14)	9 ( 0.02)	9 ( 1.29)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 ( 0.14)	1 ( 0.14)	143 ( 0.31)	33 ( 4.71)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									6 ( 0.01)	2 ( 0.29)
計 (小児科定点当たり人数)	23 ( 8.75)	75 ( 9.16)	210 ( 17.11)	42 ( 11.60)	70 ( 29.50)	66 ( 12.00)		486 ( 14.14)			
前 週 (小児科定点当たり人数)	46 ( 19.25)	136 ( 15.84)	333 ( 25.46)	68 ( 18.13)	46 ( 16.50)	68 ( 11.50)			697 ( 18.98)	52,497	20,726 ( 536.90)

定点当たり

第19週

定点名	医療圏 疾病名	安芸 医療圏	中央医療圏			高幡 医療圏	幡多 医療圏	計	前 週	全国(18週)
			中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ	2.75	2.73	3.75	3.60	5.50	2.00	3.27	6.98	3.38
小児科	咽 頭 結 膜 熱					0.50		0.03	0.10	0.34
	A群溶血性レンサ球菌 咽 頭 炎		0.57	1.73	1.00	6.00	2.00	1.60	1.17	1.35
	感 染 性 胃 腸 炎	3.50	2.86	5.91	4.67	6.50	3.80	4.60	6.83	5.88
	水 痘	1.00	0.14	1.64	1.00	9.50	3.00	1.93	1.97	1.60
	手 足 口 病	0.50	0.57	1.55		0.50		0.77	0.50	0.22
	伝 染 性 紅 斑		0.43	0.82	1.00		0.40	0.57	0.43	0.54
	突 発 性 発 疹		0.86	0.73		0.50	0.40	0.57	0.50	0.44
	百 日 咳			0.09				0.03		0.02
	ヘルパンギーナ	1.00	0.71	0.73	0.33			0.53	0.23	0.05
	流行性耳下腺炎		0.29	0.18		0.50	0.40	0.23	0.27	0.79
	RSウイルス感染症									0.11
	眼科	急 性 出 血 性 結 膜 炎								
流行性角結膜炎				1.00				0.33		0.47
基幹	細菌性髄膜炎			0.20				0.14		0.02
	無菌性髄膜炎								0.14	0.02
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.14	0.14	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.01
計 (小児科定点当たり人数)	8.75	9.16	17.11	11.60	29.50	12.00	14.14			
前 週 (小児科定点当たり人数)	19.25	15.84	25.46	18.13	16.50	11.50			18.98	

## 2011年週報推移(定点当たり)

